

お花の栽培シリーズ「カーネーション」

2010年6月	水無月(みなづき)・且月(しよげつ)・無水月(みなづき)・風待月(かぜまちづき)・鳴雷月(なるかみつき)	●梅雨で雨が多い時期
<p>●梅雨でジメジメとした日が続きます。 春の草花の切り戻しをして長く持たせたり、春花壇の片付けをして夏の準備を始めます。 ●雑草の多くなる時期ですので、こまめに除草をしましょう。</p>		
庭木の作業	・花の終わったアジサイやサツキの切り戻し。	
草花の作業	春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え ・チューリップやスイセンなど、春咲き球根を掘りあげて、保管する。	






今月の誕生花	カラー、クチナシ、バラ	
今月の花	<p>カーネーション 花言葉/(ピンク)あなたを熱愛します (赤)母の愛情 (白)私の愛情は生きている (青)軽蔑 (絞り)愛の拒絶</p>	
	<p>カーネーションという「母の日」。「母の日」の発祥はアメリカで、1907年にウェストバージニアに住むクリスチャンの女性が、亡き母の命日に教会で白いカーネーションを信者たちに配ったのが始まりといわれます。 そしてその7年後、ウィルソン大統領が5月の第2日曜日を、「母に捧げる祝日」として、母に子供が感謝する日と決めたそうです。そんなところから、白いカーネーションは『私の愛情は生きている』、赤は『母の愛情』と、母の日らしい花言葉になったのでしょう。</p>	
	<p>カーネーションは、昔ローマに住んでいた美しいギリシャ人女性、ソニクスの生まれ変わりだという話があります。 ソニクスはカーネーションの冠作りの名人で、いつも太陽神アポロンの祭壇を美しく飾っていました。しかし、彼女を妬む者に殺されてしまいます。 太陽神アポロンは、日頃の彼女の行いに感謝し、彼女の姿を虹色に輝くカーネーションに変え、弔いました。そこから、カーネーションの学名も「神の花」の意の「ダイアンサス」になったということです。</p>	
	<p>原産地は不明(地中海沿岸)。ナデシコ科ナデシコ(ダイアンサス)属の多年草。草丈は40~100cm。開花時期は周年(施設内)。最盛期は4~6月。葉の形状は、互生し、本来上部で分枝。花色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、青・紫、白、緑、他色、複色、覆輪、底白など。英名カーネーション(Carnation)。別名アンジャベル、ジャコウナデシコ、オランダセキテク。学名Dianthus caryophyllus、花持ち2~4週間。</p>	
<p>1年中出回っていますが、やはり一番多く流通するのは母の日の頃。花束、フラワーアレンジや、テーブルアレンジには欠かせません。バラ、キクに次ぐ人気を誇っています。</p>		



お花の栽培シリーズ

今月の花

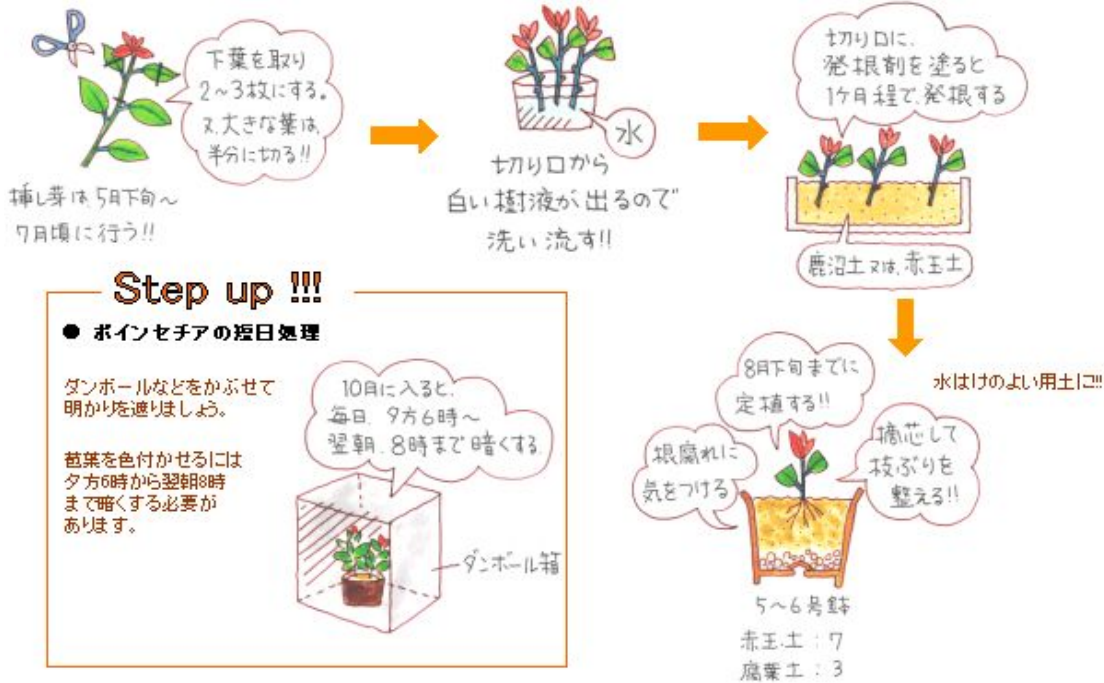
ポインセチア

日当たり  日なた	水やり  ふつう	気温  15~25℃	草丈  20~300cm	花色 
--	---	---	---	--



緑と赤のコントラストがきれいなことから、クリスマスには欠かせない花として人気が高い花です。花は大変小さくて地味で、茎のてっぺんに総苞状に咲きます。葉の上部が赤くなるのは苞葉(ほうよう)です。赤の他に、白や黄色もあります。鮮やかな赤色を保つためにも、日当たりのよい場所で育てます。冬の寒さは苦手なので、冬は室内の日当たりのよい場所に置きましょう。春から秋は屋外に出して、たっぷり日光浴させます。水やりは表面が乾燥したらたっぷりやりますが、3~4月は乾燥気味にします。また、低温期に加湿になると根腐れの原因となるので、冬期は必ず表土が乾いてから与えましょう。乾燥するとコナジラミやハダニ類が発生しやすくなります。冬の暖房で乾燥した室内での栽培と、真夏にはとくに注意が必要です。

●挿し芽のやり方



挿し芽は5月下旬~7月頃に行う!!

下葉を取り2~3枚にする。又、大きな葉は半分に切る!!

切り口から白い樹液が出るので洗い流す!!

切り口に、発根剤を塗ると1ヶ月程で発根する

鹿沼土又は赤玉土

8月下旬までに定植する!!

水はけのよい用土に!!!

根腐れに気を付ける

摘芯して枝ぶりを整える!!

5~6号鉢
赤玉土:7
腐葉土:3

Step up !!!

●ポインセチアの控日処理

ダンボールなどをかぶせて明かりを遮りましょう。

苞葉を色付かせるには夕方6時から翌朝8時まで暗くする必要があります。

10月に入ると、毎日、夕方6時~翌朝、8時まで暗くする

ダンボール箱

●植え替えのやり方



4月下旬~5月上旬頃に行う!!

古い土を半分程落とす

3分の1に切り詰める

市販の培養土で良いので、根鉢をくずさないようにしましょう。

また「深植え」はせず古い土の高さとほぼ同じになるように植えます!!!

赤玉土:7
腐葉土:3

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育 状況				花期(観葉期)						花期(観葉期)		
置き 場所	屋内の日当たり のよい場所			屋外の日当たりのよい場所						屋内の日当たり のよい場所		
水 やり	表土が乾いたら与える (4~5日1回)			表土が乾いたら与える (1~2日1回)						4~5日1回		
料 肥				10日に1回液肥を与える								
気 病	コナジラミやハダニが発生したら、薬剤で駆除する											
作 業	植え替え			挿し芽						剪定		